

2006年2月15日

大学院数学専攻 主任殿
大学院数学関連専攻 主任殿

〒110-0016 東京都台東区台東 1-34-8
社団法人 日本数学会
「数学通信」編集委員会
委員長 戸瀬 信之

拝 啓

早春の候、皆様におかれましてはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

すでにご存知のこととは思いますが、日本数学会では1997年度以来毎年「修士および博士論文」を、雑誌「数学通信」に掲載しております。

1月16日付けの書簡においてご連絡いたしました、今年度もこの企画を実施します。貴教室において、2005年4月1日から2006年3月31日の期間に授与された数学を内容とする修士、課程博士および論文博士がございましたら、それぞれについて、

氏名、論文題目

をお知らせ頂ければ、まことに幸いです。また、すでに1月16日付けの書簡におきましてご説明いたしましたが、今回から

(1) 論文提出者の掲載承諾書を集めていただくこと

(2) データをTex形式のファイルを電子メールによって送付していただくこと

の2点につきまして大きな変更がございます。

(1) (掲載承諾書) すでにお送りしております修士論文用および博士論文用の掲載承諾書を論文提出者各々から集めていただき、それを郵便で4月1日までに数学会事務局までお送りください。承諾書の用紙はURL

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/sugakutu/thesis/>

においてあります。

(2) (データの電子的送付) 事務作業軽減のためと数式などの掲載を正確に行なうために、今回からはLatex形式のファイルとして電子メールでデータをお送りいただきます。そのためのスタイルファイル

thesis06a.sty

をサンプルファイルとともにURL

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/sugakutu/thesis/>

においてあります。このスタイルファイルで作成していただきましたLatexソースファイルとdvi ファイルを(できたら pdfファイルも)電子メールで

thesis@math.or.jp

に4月1日までに送りください。ファイル名はできるかぎり教室名が分るものをお使いいただき、添付ファイルとして送りください(承諾書は郵送でお願いします)。

今回はこのように面倒なことを各数学教室にお願いすることとなり、大変恐縮いたしております。今回の結果を5月20日頃に発送予定の「数学通信」11巻1号に掲載して、ご報告いたします。これが各地の大学院における研究動向を知る一助にもなり、また若手研究者が同じテーマに興味を持つ仲間を得て研究の進展に資するなどに利用されることなどを期待しております。このような趣旨ですので、どうか宜しくご協力下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

連絡先・照会先

事務局または

電話 045-566-1356 (戸瀬信之研究室)

電話 070-5545-1249 (戸瀬信之PHS)

電子メール thesis@math.or.jp